

リノベーションまちづくりは草加駅東口周辺エリアと谷塚駅周辺エリアで展開しているんだ。まずは草加駅東口周辺エリアで実際に動いている人の話を聞いてみよう!



草加宿今様本陣とは?

NPO法人今様草加宿が中心となり地域の方から出資を募り事業化。1階は飲食店と物産販売所、2階はレンタルスペース。

まちを好きな気持ちが自分を動かす

(NPO法人今様草加宿 理事長 長谷部健一さん)

古くは松並木の保全や地域を盛り上げる様々なイベントなど、「心の底からこのまちを好き」という人たちの思いが、このまちを紡いできました。草加宿今様本陣も旧町と草加松原をつなぐエリアを、自分たちの手で、多くの人に愛される場所にしたいとの思いで運営しています。まちを愛する心が人を育み、その人たちがまちをつくっていくんです。



お客さんの喜びが私の活力

(蔵カフェ 中屋 店主 須田明子さん)

最初は父の思いから始まった場所ですが、この場所ができて多くの地域の人が訪れるようになりました。その人たちから「今日も美味しかった」「本当に素敵な場所で居心地が良い」など幸せな声をいただけることが自分自身この場所を続ける上での励みになっています。地域の皆さんにとって大切な場所になってるんだなって実感するんです。

このまちが好きで、まちのために自分ができることを考えながら動いている人や自分がやりたいと思ったことが周りの人のちょっとした幸せをつくってたりするんだね!

蔵カフェ 中屋とは?

地域の人が集まれる場にしたという所有者の思いを受けてオープン。今年度、国の登録有形文化財に登録された。

そうだね!そして昨年から新たにリノベーションまちづくりを展開している谷塚駅周辺エリアでは、その前から商店会や地域の人がこのまちのことを「ジブンゴト」として動き出しているんだよ!



生まれ育ったまちでの恩返し

(谷塚駅東口商店会 会長 山本好男さん)

かつての商店会はたくさんのお店が軒を連ねてものすごくにぎわっていたんです。商店主同士が友だちで、小さい頃はよく地域の人に可愛がってもらいました。そんな自分が商店会長という立場になったのは、生まれ育ってきたこのまちに恩返しをしたいという思いがあるんです。やつかの景色は変わりましたが、今も魅力的な商店はたくさんあります。そうした商店を地域の人に知ってもらうため、商店会PR冊子「ヤツカノキザシ」を発行しました。この冊子が地域の人たちにとって、改めてやつかのまちを好きになってもらうためのきっかけになればいいなと思っています。



ヤツカノキザシとは?

商店会のお店を知ってもらうために谷塚駅東口商店会がつなぐば家守舎株式会社と連携して作成した商店会PR冊子。